夕刊 磐城時報

九日
福島縣石城郡平町紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四 印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

好景氣の影響で 鐵道大增收
一日平均の業績 一ヶ年の增收四萬圓

平驛昨年中の成績は好景氣來の影響から旅客、手小荷物、貨物等何れも素張らしい激增ぶりで一日平均の收入は千二百五十六圓四十一錢で十年度中より百八圓三十六錢の增收であつた、內譯を見ると

旅客八四九圓五四錢（前年は七八三圓三二錢）
手荷物五圓六三錢（四圓八〇錢）
小荷物四九圓三八錢（四六圓〇四錢）
貨物三五一圓八六錢（三一三圓八九錢）
計一二五六圓四一錢（一一四八圓〇五錢）

で乘車人員は二七五五人（二五五一）降車は二七二〇（二五〇二）乘繼一〇三三（九八六六）である、鐵道取扱電報は發信百四十五通、（前年は百四十四通、着信九十（七十七）中繼二〇（十四）騰寫四十五、三十六）公衆電報發信三〇（二七）着信二（一）で之亦非常な激增ぶりである、尙は一ヶ年間の前年度よりの增收約四萬圓である

大和田氏 胃潰瘍で逝く

四倉町新町漁業家現四倉合同運送株式會社々長並に町會議員大和田安太郎氏は昨八日午後二時胃潰瘍で死去したが當年五十七歲の働き盛り、現在同町漁業組合理事並に四倉信用組合理事、日本萬年瓦工業株式會社の理事平電力株式會社の監査等をつとめてゐた、葬儀は本月二十七日（舊正月十七日）午後二時自宅出棺同町原田海嶽寺に於て佛式に依り葬儀を營む

▲入山校行事

入山採炭今月中の主なる行事左の如し

十一日棋道部職員園碁大會（於職員クラブ）同各區對抗マラソン 二十日棋道部從業員聯球大會（於東クラブ）二十四日－二十八日讀書會（於神苑クラブ）

尙入山小學校では來る十三日自治會館で兒童學藝會を催すと

全署員を動員し 舊歲末の警戒
第一日目の獲物

舊正月を中心として頻發する犯罪防止のため平署では八日夜から全署員を動員して之が警戒に當つてゐるが第一日の八日夜十時頃平町三丁目大黑屋洋品店から毛シヤツ、ズボン等を萬引きして逃走したのを屆け出によつて手配し間もなく驛前を徘徊してゐる青年二人を捕へ調た處湯本町關船無職須藤茂（二七）外一名である

山文事件の一味 八名に懲役求刑

山田文一氏事件の公判は引續き九日午前十時半から平區中島判事係りで開廷證人として四倉町磐城セメント工場倉庫部長鈴木守雄氏を取調べて結審、櫻井檢事は山田文一、茂一郎親子は大商店の主人として慾のために店員に惡事を强要し社會に迷惑をかけた事はその罪重大である約と四十分に亙る大論告をなし左の如く全部に實刑を求刑した

懲役一年 山田文一（五五）
同十月 山田茂一郎（三五）
八ヶ月 宮下勇二（二七）
六ヶ月 內藤七郎（三七）
六ヶ月 山口馬太郎（三七）
六ヶ月 岡田仙（四二）
三ヶ月 加藤重義（三五）
十ヶ月 金澤四郎（三六）

路上の刃傷事件 加害者捕はる
カフエーの喧嘩が原因

昨報七日夜十一時頃小名濱町字竹町地內で通行中の同町字上神明町トラック業野口末松方運轉助手安積郡永盛村笹川農文松長男淸野文勝が何者かに短刀で下腹部を刺され大腸露出瀕死の重傷を負つた事件は平署菊地刑事部長出張搜索の結果同町字沖見町漁業勝助長男佐川忠雄（十九）假名の所爲と判明平署に引致取調べた處犯行一切を自白した、淸野は七日夜知人の內郷村大字綴青物商鈴木信夫（二四）外二名と同町辨天町カフエー浮世で飲み酒中加害者佐川が同僚二名と共に同カフエーに來り些細の事から口論を始めたので淸野はそのまゝ歸途についた處忠雄は仲間二名と共にその後を追ひかけ隱してゐた四寸五分の短刀で文勝の腹をえぐつて逃走したものであつた、尙ほ忠雄の同僚大友淸芳、香川昇も共犯の嫌疑で平署に檢擧された

戀人に捨てられ 悲觀して鐵道自殺
『女は戀すべからず』と遺書 氣の弱い平商卒業生

八日午後七時頃平町古鍛冶町地內踏切りを驀進中の下り列車に飛び込み跳ね飛され腰部を强打昏倒してゐる青年を附近の者が發見平署で調べるとその青年は好間村今新田農才太郎次男佐々木春千代（二五）で平商業學校を卒業し曾て戀仲になつてゐた玉川村大字住吉高橋キヨ子（二八）から學生が好きだと言はれたのでその意に叶ふ可く東京市武藏野高等工科學校電氣部を志したが家庭の事情で入學出來す結局南品川中島電氣機械製作所の職工となつて去月中歸省した處戀人のキヨ子は春千代を捨てゝ他家に稼いでしまつたので失戀の結果自殺を企てたもので遺書には『女は戀すべからず』と認めてあつた

料理屋で 亂暴を働く

平町鎌田町土工加藤吉郎（二二）外三名は八日夜十一時頃同町四丁目料理業林家事林スイ方に登樓し七圓余を費つた揚句勘定となると懷中無一文で貸せ、貸さぬの口論から大暴れを演じてゐる處を平署員に捕えられ留置場に入れられた。

林野保護組合 表彰組

平署管內林野保護組合總會は十七日午前十時から同署會議室に開き豫算、決算を附議後、優良組合として左記十九名の表彰式を擧行す

永戶村下永井、同上永井、大利、高野、合戶、柳小屋、渡戶、三阪、澤渡、下小川、內倉、上小川、江名、夏井、飯野、鹿島、平窪、好間、赤井

平町會議員
選擧人名簿
出來上りました
ポケット用體裁優美
電話四〇九番へ御申込下さい
磐城時報社

十八年間一日の如く 病床の母を看護
澤の家女將表彰さる

四倉町役場に於ては來る十一日の吉日をトして町內の功勞者並に孝子等の表彰式を擧行するが、同町醫師額賀襄氏は町醫、校醫に奉職すること滿四十一ヶ年七ヶ月で重茶ダンス一掉と表彰狀。驛前行政區長崔屋事菊地伊之太郎氏は區長滿二十年。同町澤の家事鈴木女史は母が大正八年より病床にあり尙今日も看護中で孝子として表彰される。

水戶の觀梅列車
笠間廻り五百名募集

水戶の觀梅は本月下旬から見頃に入るので平驛では來月七日平高萩並に小川鄕間の第一回觀梅列車を運轉する、定員五百名で三等往復二圓四十四錢で目下募集中である、時間は平發午前七時二十分、同十時笠間着笠間稻〇參拜後十一時發正午水戶着約四時間公園市內を見物の上午後四時五十分水戶發六時五十分平着の筈

和田耳鼻咽喉專門醫院

營業報告

昭和十一年十二月三十一日現在

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	五〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	四八〇・〇〇
未拂配當金	一九八・五〇
借入金	九五八・二六
假受金	二九七・六一
未經過利子	一、六七四・〇六
前期繰越金	一、六八六・六六
當期利益金	五二一・二六
合計	五五、八一六・三六

資產之部

科目	金額
銀行預金	一三、〇二三・〇八
貸附金	三八、九九八・一六
假拂金	一二七・一
有價證券	三二五・〇〇
所有不動產	二、八二七・〇〇
什器及備品	八六・〇〇
金銀有高	五五〇・九九

金壹千六百八拾六圓六拾六錢也 當期總利益金
金五百貳拾壹圓貳拾六錢也 前期繰越金
計金貳千貳百七圓九拾錢也
內金貳百五拾圓也 法定積立金
金壹百六拾八圓也 役員賞與金
金壹千貳百五拾圓也（年五分）株主配當金
金五百參拾九圓九拾貳錢也 後期繰越金

右ノ通リ候也

昭和十一年十二月卅一日

草野產業株式會社
取締役社長 伊藤淺之助
取締役 渡邊金彌
取締役 高岡文夫
監査役 豊田吉松
監査役 大瀧友隣

追而取締役及監査役任期滿了ノ處全部再選重任ニ決ス

ベニヤ再＝新品入荷

謝恩奉仕大特賣

前回ノ謝恩デーニテノ皆様ノ御好評ニ酬ヒ左記期間中ニ限リ

二月五日ヨリ二月十四日迄

良品廉賣（確カ御期待ニ添フ）

銘木、床柱、天井板

建築材木はすべて一式

一度御來店ヲ御待チ申居リマス

織田材木商店

福島縣平町紺屋町

電話【平】四六〇番

◎御知らせ（三）

長唄を親切丁寧に教授致しますから希望の方は御出で下さい。

「子供さんも初心者も」

◇四倉町福田町一三一（額賀醫院向ヱ西）

長唄　杵屋正美

國華ポマード颯爽たり

皆様の美容室『理髪東京』は『オールサービス』の滿全を期し國華ポマードを初め全部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝國美容師會々員

東京國華會 パーバーチエン

理髪東京

夜間診療

胃腸　内科　胃腸病科

性病　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科

專門

松村胃腸性病科醫院

平町南町（電一〇七番）

三井タクシー

平町二丁目

電話六八五番

魚清自慢のなべ料理

鯛ちり　五十錢
鯛なべ　五十錢
鱈ちりなべ　三十錢
ちりなべ　三十錢
はもなべ　三十錢
あんこはべ　三十錢
いかなべ　三十錢
よせなべ　三十錢
かきなべ　三十錢
ねぎまなべ　三十錢
煮込なべ　三十錢
鳥なべ　三十五錢
牛なべ　三十五錢
豚なべ　三十五錢
吸なべ　三十五錢
えび天丼……三十錢
えびフライ……二十五錢
えび天ぷら……二十五錢
あんこともず……十五錢
かき酢……二十錢
かきラライ……二十錢

キントンあります

平二、警察署通り

魚清食堂

電話六三三

二日市景品に付て

一、現金にて御買上の方に景品を呈します。

一、現金にて商品券御買上の方にも同樣景品を呈します。但し商品券にて品物御買上の場合は景品は差上ません。

二日市の景品は右の通り御實行せられんことを希望します。

平町各商店御中

平町御客様御中

平商工會

中野歯科醫院

院長 日本歯科醫學士 中野惠次

日本歯科醫學士 西川誠

診療科目

一、歯科一般

保存科　補綴科　繼續架工科　歯列矯正科　小兒歯科　歯槽膿漏科

一、口腔外科

一、レントゲン科

◇看護婦至急募集

平町田町（松月堂向）

電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

（入院のお需に應ず自炊の便あり）

平町田町藤田女學校前（電話五八番）

◇三百年の歴史を有する

家傳靈藥

相馬ハンサキ消食散

一名かげの藥

代理店 平町大町 丸龜商店

電話一三三番

謹啓夫大和田安太郎儀豫て病氣靜養中の處藥石効なく二月八日午後二時遂に永眠致候此段以紙上謹告仕候　敬具

追而葬送の儀は來る二月二十七日午後二時自宅出棺海嶽寺に於て佛式に依り相營み可申候

昭和十二年二月九日

四倉新町

妻　大和田キチ

親戚總代　大和田保次郎

長谷川長太郎

友人總代　新妻盛

鈴木賢二

本組合理事大和田安太郎殿豫て病氣靜養中の處藥石効なく二月八日午後二時死去仕候に付此段謹告候也

昭和十二年二月九日

四倉町

責任保證　四倉購買販賣利用組合

當社監査役大和田安太郎殿病氣靜養中の處藥石効なく二月八日午後二時死去仕候に付此段謹告候也

昭和十二年二月九日

平町

平電力株式會社

本社監査役大和田安太郎殿豫て病氣療養中の處藥石効なく二月八日午後二時逝去仕候に付此段謹告仕候

昭和十二年二月九日

四倉町

萬年瓦工業株式會社